

びてきているほか、自然や食などと連動した体験観光の需要が高まってきております。



市としても、いなか博で培ってきた体験観光のベースを生かした具体的なメニューづくりや体験ガイド役の養成など、サポート体制を構築するとともに、地域特性溢れるイベントの開催やオホーツク観光の展開などにより、紋別への誘客を図ってまいります。

北方圏国際シンポジウムにつきましては、流水研究の先進都市事例として国内外に認知され、漁業から油汚染対策まで幅広い学術の情報交換がなされております。今後とも継続開催されるよう市民組織の実行委員会に支援してまいります。

また、北大低温科学研究所など学術研究機関とも連携を深め、紋別のフィールドを生かした研究が地域貢献されるよう努めてまいります。



オホーツクプログラムにつきましては、オホーツクタワーにおける紋別沿岸域の水海・海洋データの蓄積と解析を継続実施することにより、オホーツク海の環境保全対策や紋別の漁業振興に貢献していきたいと考えております。

また、豊稷な海・オホーツク海の油汚染から守ることが海に生きる私たちのまちにとって極めて重要なこととあり、油回収装置搭載可能な巡視船の配備など、必要な対策を国に要請してまいります。

国際交流につきましては、本年は、姉妹都市であるニューポート市と提携40周年、コルサコフ市、フェアバンクス市と提携15周年を迎える記念すべき年であります。周年事業として、市民の参加機会を拡充した親善訪問団を姉妹都市に派遣するほか、

7月には姉妹都市から訪問団を受け入れ、相互の親善交流をより一層深めてまいります。

都市間交流につきましては、青山学院初等部に代表される休校閉校した学校を活用した児童生徒の体験交流を地域と共に進めてまいります。

また、県人会などが中心となって進めております国内他都市との親善交流及び経済交流を促進し、友好親善の輪を広げてまいります。

紋別空港の振興につきましては、HAC札幌便の恒常的運行を目指し、札幌との空の足の確保に向けて、市民挙げて搭乗率の向上に取り組んでまいります。

また、ANA東京便については、安定的な利用率を確保し、チャーター便の誘致を航空会社に要請しながら、複便化につながる取り組みを展開してまいります。



開してまいります。

このほか、冬期間などの課題でありますターニングパッド設置の早期実現について、国や北海道に要請してまいります。

紋別港の整備につきましては、これまで進めてまいりました第4防波堤の整備工事が本年度をもって完了するほか、漁港区である第1船溜地区の物揚場や上屋整備の実施設計に着手するとともに、事業の実施に伴う港湾計画の軽易な変更を進めてまいります。

また、第3防波堤の改修に向けた調査設計に着手するほか、港南地区の道路整備や侵食対策、さらに多目的広場の舗装整備を進めてまいります。

高規格幹線道路旭川・紋別自動車道につきましては、平成20年には、旭川から丸瀬布までの通した供用を開始されることから、遠軽・紋別間についても早期に事業化が決定されるよう国に強く要請してまいります。

また、国道238号渚滑橋の架け替えが、一日も早く完成するよう国に要請してまいります。

このほか、道道紋別丸瀬布線金八峠のトンネル工事が決定されたことから、早期完成を北海道に要請してまいります。

目標4
人を育み、学び合おう

- 主な事業など
- ・移住・合宿・修学旅行などの誘致活動展開 319万円
 - ・スポーツ強化合宿の継続支援(全日本男女ハンドボール、拓大陸上部) 281万円
 - ・体験観光のメニューづくりと体験ガイド養成など 217万円
 - ・姉妹都市提携周年事業の訪問団派遣と受け入れ 945万円
 - ・HAC札幌便恒常的就航に向けた市民運動展開支援など 4,517万円

今日、社会環境が急速に変化して

きている中で、子どもたちは未来に希望と自信を持ち、人間性豊かに学び過ごせる環境、そして市民一人ひとりが生きがいを持ち自主的に暮らせる地域社会の形成が求められています。

次代を担う子供たちや、文化やスポーツ活動など、時代を築きつむ人た

ちを育む環境づくりに取り組んでまいります。

学校教育につきましては、小向小学校の児童が、平成18年度中には新校舎で学べるよう改築工事を進めるほか、老朽化の著しい紋別中学校のポイラーを更新してまいります。

また、不審者侵入防止対策のため、市内小中学校にモニター装置付電気錠を設置し、より安心して学べる学校づくりに努めます。



▲小向小学校完成予想図

までの送迎バスを運行するとともに、上渚滑地域の子どもたちが、安全に元気づく交流できるプールを整備してまいります。

生涯学習につきましては、昨年購入した旧NTTラインマンセンターを、博物館の補完的機能と市民開放型スペースを兼ね備えた生涯学習施設として

活用できるように具体的検討を進めてまいります。

また、市民会館の幅広い利用を促進するため、障害者トイレの設置など、年次的に整備するとともに、大ホールに新たにプロジェクターを設置し、時代に対応した施設機能へと転換してまいります。

このほか、市民が自主的に芸術文化活動に参画し、誰もが幅広く芸術文化に触れられるよう「ホットランドオホーツク」に活動支援してまいります。

平成15年度から取り組んでおります新しい紋別市史につきましては、紋別の誕生から現代に至る通史としてまとめ上げ、年度末の発行を目指し、最終の調整作業を進めてまいります。

体育・スポーツにつきましては、運動公園の全天候型テニスコート3



面を整備するほか、休憩施設の実施設計に着手するなど、施設のリニューアルを計画的に進めるとともに、多くのサッカー愛好家が期待している芝生広場の供用開始に向け、ゴールポストなど施設備品を整備してまいります。

また、築30年を経過し施設機能が低下しているスポーツセンターの改修調査を実施し、利用拡大に向けた施設整備の準備を進めてまいります。

このほか、渚滑地区体育館における経年劣化の著しいアリーナの改修を実施してまいります。

高校の再編につきましては、使用校舎など地域の議論を踏まえ、魅力ある高校づくりを、北海道教育委員会に要請してまいります。

主な事業など

- ・小、中学校モニター装置付電気錠の設置 396万円
- ・上渚滑地域子ども交流プールの建設 1,718万円
- ・市内児童生徒の健康プールまでのバス輸送確保 99万円
- ・市民会館施設機能アップの改修(身障トイレ、プロジェクター設置等) 798万円
- ・運動公園テニスコート3面整備及び休憩施設の実施設計 1億510万円
- ・スポーツセンター改修に向けた調査委託 168万円